Lecture Chamber

児童虐待

中村道彦

児童虐待の定義

厚生労働省による児童虐待防止法（２０００）
第二条（児童虐待の定義）から改変

- １８歳未満の子供に対して
- 保護者（親権を行う者，未成年後見人その他の者で児童を現に監護するもの）が
- 身体の外傷的暴力、わいせつ行為またはその行為の強要，正常な発育を妨げる不適切な養育または放置、事故等の防止への配慮の欠如、暴言や拒絶などの心理的外傷，などを与える行為。

児童虐待の類型

国際児童常任委員会

International Standing Committee on Child Abuse (ISCCA)

- **家庭内における子供の不適切な取り扱い**
  - 身体的虐待
  - ネグレクト(遺棄)
  - 性的虐待
  - 心理的虐待
    養育者の振る舞いや言語による威嚇、または同胞との差別的扱い

児童虐待防止法の分類

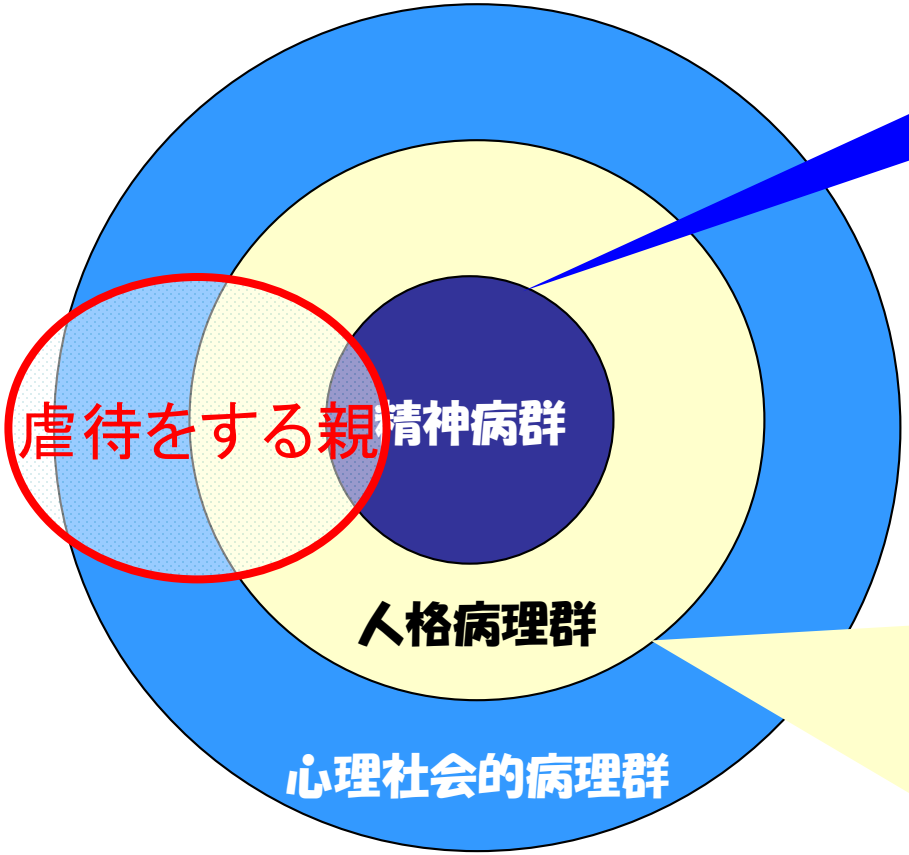
	被虐待児の年齢順位
○身体的虐待(暴行)	①3~5歳児　②1~2歳児
○性的虐待(わいせつ行為)	
○ネグレクト(放置)	①生後2ヶ月　②3~5歳児
○心理的虐待(心理外傷)	①1~2歳児　②6~11ヶ月児

- **施設内における子供への不当な取り扱い**

- **家庭外における子供への不当な取り扱い**
  - ポルノグラフィや売春
  - 児童労働の搾取

- **その他**
  - 薬物やアルコール依存への誘惑
  - マスメディアの刺激(過激な暴力シーンを伴う番組)
  - その他、子供向けの広告、有害食品、事故を起こしやすい住宅や遊び場、箱形ブランコのような遊具などの問題

虐待する親の精神状態や病理

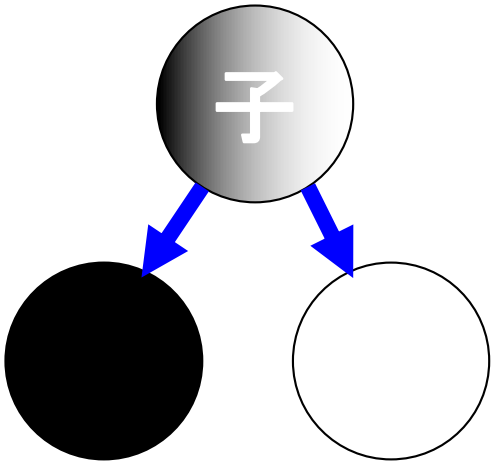


精神病
（統合失調症・躁うつ病等）

神経症・性障害
人格障害・人格特性

○未熟性○過敏性
○衝動性○回避性
○境界性（分割機制など）
○演技性（高い要求水準など）
○依存性（子供は親を満足させて当然という逆転した依存）
○強迫性（甘やかし厳禁，体罰主義など）

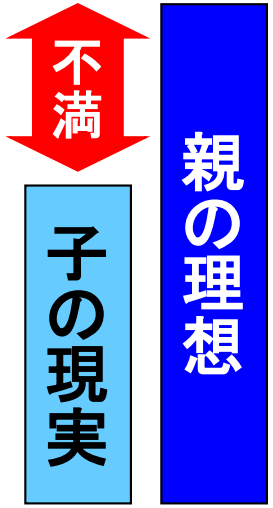
虐待する親の人格心理



“とりえのない子”

黒か白か

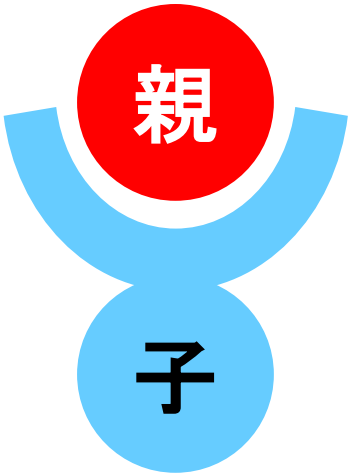
境界性パーソナリティー



“期待はずれの子”

できて当然

強迫性パーソナリティー



“気の利かない子”

子は親につくす

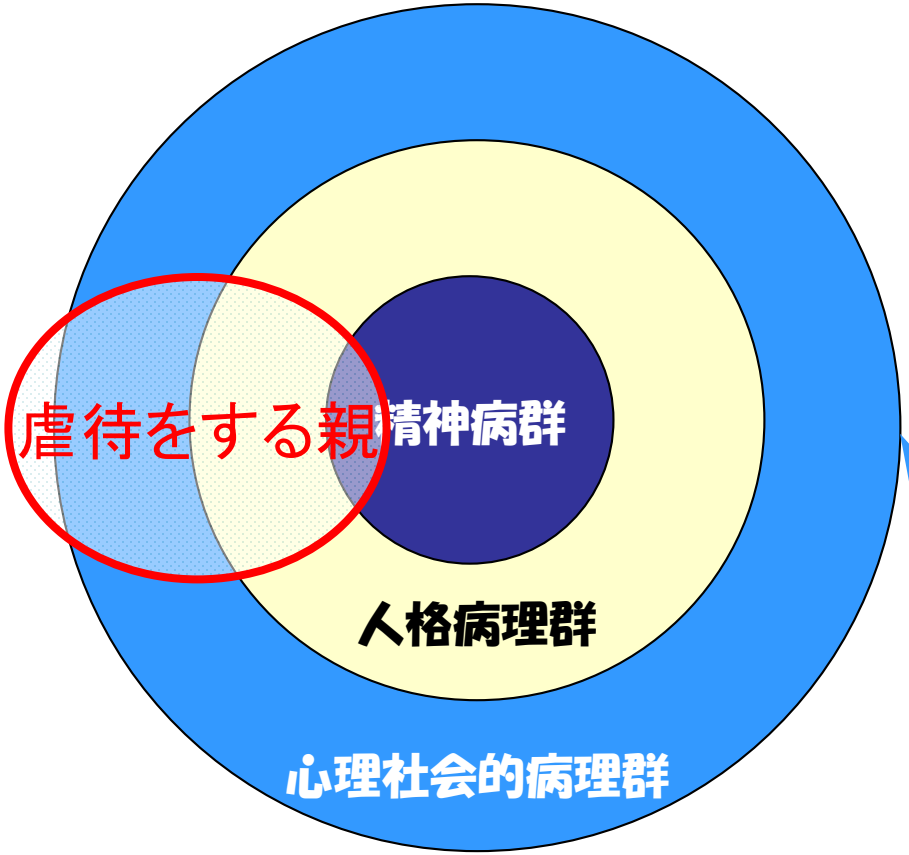
依存性パーソナリティー

被虐待児の親の病理

» 杉山登志郎(2007)

- 2001年11月～2007年10月にあいち小児保健医療総合センターで診察を行った虐待児700例（身体的313例，心理的147例，ネグレクト118例，性的虐待116例，ミュンヒハウゼン症候群6例）の親で，カルテを作成した親１２０例（男5例，女115例）
- 親の初診時診断は，うつ病47例，高機能広汎性発達障害21例，PTSD15例，境界性人格障害7例，解離性障害7例，不安・パニック障害6例，アルコール・薬物依存4例，妄想性人格障害3例，精神遅滞3例など
- 親の臨床的特徴（重複評価）として，加虐120例中90%，うつ病86.7%，被虐待の既往67.5%，PTSD62.5%，児に対する虐待またはDV80.8%，DVの被害54.2%，解離性障害38.3%，非行の既往21.7%などであった。
- DVと虐待など暴力の連鎖との関連を分析した結果，消極的連鎖としてDVの被害からPTSD，重度の抑うつ，ネグレクトへの展開が考えられた。一方，積極的連鎖については元被虐待児でさらにDV被害の経験が明らかにされた親は61.7%であった。

虐待する親の心理社会的病理



- ○望まない結婚・妊娠・出産
- ○経済的困窮
- ○社会的に孤立した家族
  または閉鎖的家族
- ○障害児
- ○育児負担
- ○虐待の生活歴
- ○育児に無関心
- ○愛着形成不十分
- ○母親が父親の暴力の犠牲者

児童虐待への対応“4P”

Prohibition(禁止)

- 法律の整備、社会規範・倫理の啓発、教育と普及

Protection(保護)

- 児童の隔離と保護、親に対する啓発と再教育

Prevention(予防)

- 育児に関わる親の支援体制、成長した被虐待児の虐待防止支援

アンガーマネジメント

Promotion(増進)

- 児と親の健康増進、健全な親子関係の促進

動因説

例：
- この子のために自分の時間がとれない。
- この子が自分 の人生を台無しにした。

例：
- この子は私の邪魔ばかりしている。
- 子育ての能力がない自分を許せない。

欲求不満 frustration

↓

怒り anger

↓

＋ 攻撃誘発刺激

＋ 攻撃手がかり
aggressive cue

攻撃手がかり論
Berkowitz L(1989)
武器の存在が
攻撃を誘発するという現象を
解明するために
提起した理論で
古典的条づけメカニズムで
攻撃反応が促進される

例：「お腹が空いた！」

例：手に持った包丁

攻撃行動 aggression

破壊＝怒りの基本的行動次元

望ましい攻撃行動	望ましくない攻撃行動
観戦 スポーツ ゲーム	虐待 皮肉、ジョーク、ハラスメント 犯罪、闘争、紛争、戦争

社会学習説

親の虐待，いじめ，配偶者のDV……破壊的行動障害
行為（素行）障害
注意欠陥／多動性障害
反抗・挑戦性障害

↓

攻撃行動のモデリング
モデル＝友人，親，配偶者，漫画など

攻撃行動でもたらされる強化因子

○攻撃報酬：　制裁、復讐などの社会的公正、利益獲得、防衛など
○社会的報酬　自己呈示：自己の存在に対する社会的承認
　　強制力＝社会的影響力の獲得
○自尊感情：　自分の優位性の自負

↓

攻撃性の強化

本能説

自傷・自殺行動

Freud(1920)　生の本能と死の本能の二元論を確立

自分に向けられた攻撃性

「死の本能」(タナトスThanatos)
＝自己破壊衝動

↓

他害行動

他者に向けられた攻撃性

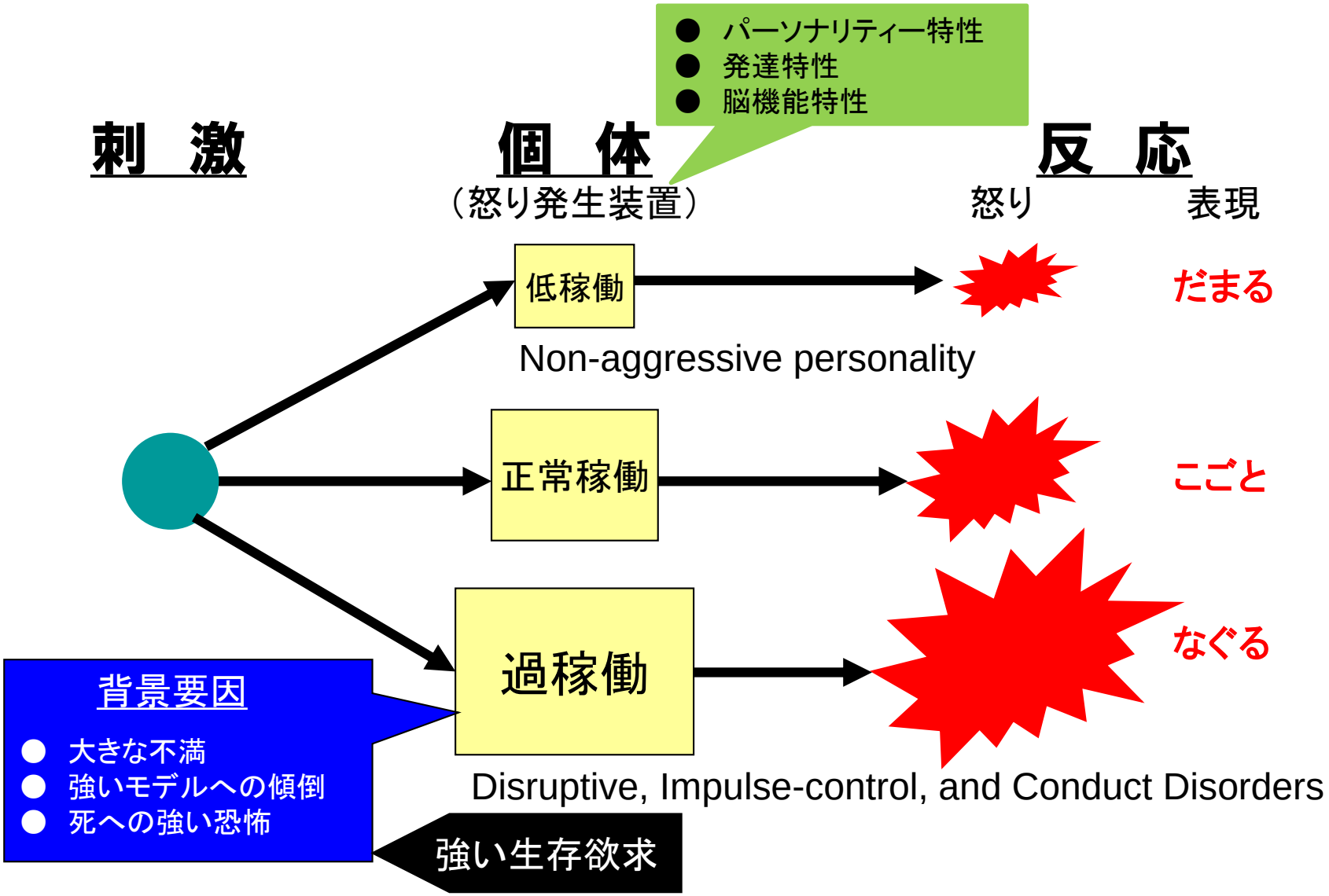
破壊衝動を他者に振り向けることで
自己破壊を回避

表情筋

眉つり上がり
口は四角に

自律神経(交感神経)系の興奮
(血圧上昇、頻脈、顔面紅潮)

刺激に不相応な反応


● パーソナリティー特性
● 発達特性
● 脳機能特性
刺　激
個　体
（怒り発生装置）
反　応
怒り
表現
低稼働
だまる
Non-aggressive personality
正常稼働
ここと
過稼働
なぐる
Disruptive, Impulse-control, and Conduct Disorders
背景要因
● 大きな不満
● 強いモデルへの傾倒
● 死への強い恐怖
強い生存欲求